

【社是】 経営を継承に
成功を成幸に

【事務所理念】企業経営の羅針盤・かかわる人の転ばぬ先の杖を目指し、真の成功を共に追求し続けます。

月刊 岩田会計 第198号

令和5年7月12日

理念伝道士 岩田英人

<http://www.iwatax-m.com/>

新型コロナウイルスの話題も耳にすることが減ってきましたが感染者は相変わらず多くいて辛い思いをしている方もいらっしゃいます。世の中の風潮や同調圧力に流されること無く、手洗い・うがい・必要な場所でのマスク着用など自分で出来る感染症対策は怠らずにいたいものですね。



【令和5年7月号】「あなた（わたし）の常識は世間の非常識か？」

残業時間の抑制や、有給休暇の消化、ハラスメントの撲滅、最低賃金のアップ等、「働き方改革」が叫ばれるようになり、かなりの時が経過しました。この間、不況続きにもかかわらず、経営者は同時に「生産性向上」というキーワードにも縛られてきました。これら「働き方改革」と「生産性向上」という二つのキーワードは労働者側と経営者側とそれぞれの立ち位置が違うため同じ土俵で論じることが難しいと思われがちで、多くの中小企業は「大企業はこれらの課題に取り組めて良いよね、我々中小零細企業はそもそも値決めが辛いし、生産性が低いまま労働環境を改善して賃金を上げるとますます利益が出せなくなってしまう」という逃げ口上を使ったりします。労働者側の権利も主張ももっともですし、経営者側の苦悩ももっともです。が、そう言っていっては何も変わりません。で、どうするのか？

「働き方改革」を実践しつつ「生産性向上」を実現するためには何が足りなくてどうすれば良いのか？根本的な何かが欠けているのか？過去からの延長線上で判断をしていないか？ひょっとしたらそう思っているのは自分だけじゃ無いのか？全く違う目線で取り組めば徐々にではあっても解決に向かうのではないか？などなど、とにかくゴール設定をして現状とのギャップを明確に認識して課題を整理した上で諦めずに対処していくことが求められます。自分自身の判断基準（常識）が世間の判断基準（常識）とずれていることは往々にしてあります。フラットな状態で素直に受け止めて出来ることに取り組んでいきましょう。

岩田会計事務所は人生理念・経営理念策定・経営計画策定・経営計画遂行支援に力を入れて取り組んでおります。ご依頼はもちろんのことご紹介いただけるお客様がお見えでしたらいつでもお声掛けください。